

宇土市地域学校協働活動便り

「結」

No.8

R5.11.10
発行

宇土市教育委員会
生涯活動推進課
生涯学習係
文責：中村 敬人
TEL 0964-22-6510

今月も充実した地域学校協働活動の月になりますように

先月は、ほとんどの小学校で稲刈りが行われました。まさに実りの秋を満喫する風景です。自身の学生時代のことを思い出しました。確か、この時期は稲刈りとセットで写生大会があったことを。しかも、まる一日つかったの写生大会だったことを。今と違って、昔は教育課程に余裕があったのかもしれませんが。

私も2校（緑川小、網津小）の稲刈りの取材に出向きましたが、両校とも多くの地域のボランティアの方々の顔を拝見することができました。しかも、ほとんどの方々が昨年度もお見かけした方々です。



おそらく、各学校の諸活動の折々に学校支援の位置付けがなされているのだろうと感じました。長い時間を経て学校と地域の間に強い結び着きが構築されていることを再確認することができました。

そして、これからもその関係が継続されることを期待します。

更にもう一つ、走湯小学校のマルメロジャム作りを取材しました。

こちら地元マルメロ会のメンバーにより4年生児童を対象に毎年実施されている活動です。この活動からも走湯小学校区が地域挙げて学校支援体制が構築されていることを強く感じることができます。今年度は、児童だけでなく保護者にも呼びかけをしてありました。



保護者の方々は仕事の都合等で残念ながらお一人だけの参加でしたがとても良い取組をされていると思いました。考えようによっては、保護



者も大切な学校支援ボランティアでもあります。

また、今回のジャム作りでは、児童の意欲を高めようと



お手製の「マルメロハット」を児童一人一人にプレゼントされる地域の方がいらっしゃいました。

今回の取材を通して、地域の方々の「学校愛」を強く感じるとともに、本事業（地域学校協働活動）の「学校を核とした地域づくり」、CSとしての各学校の「地域とともにある学校」の一体的な取組の推進状況に触れることができました。

今月3日（金）の熊日新聞で鶴城中学校の読み聞かせボランティアの方の投稿記事を見付けました。

今月は、さつまいもの収穫や玉ねぎの苗植え体験等が予定されている学校があります。

今月は、ほとんどの小学校で就学時健康診断が実施されます。それに伴い、保護者を対象に子育てを目的とした「親の学び」研修会が開催されます。私もある小学校でその研修会の進行役を担うことになり、その準備に慌てふためく日が続いています。

地域学校協働活動は、学校と地域が協働・連携して双方向で取り組む活動です。